

## 27年11月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年 11月1日～ 27年11月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
11月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目	27/11月	12月	28/1月	
入荷動向	スギ	50.0	60.0	20.0
	ヒノキ	50.0	25.0	25.0
	カラマツ	50.0	20.0	0.0
	トドマツ	33.3	0.0	△ 33.3
消費動向	スギ	50.0	20.0	20.0
	ヒノキ	25.0	△ 25.0	25.0
	カラマツ	33.3	30.0	10.0
	トドマツ	66.7	16.7	△ 16.7
在庫動向	スギ	0.0	20.0	20.0
	ヒノキ	50.0	25.0	25.0
	カラマツ	33.3	0.0	0.0
	トドマツ	33.3	33.3	66.7

・スギ及びヒノキ原木の入荷は3ヵ月連続して増加。カラマツは11月、12月の増加が、28年1月は横ばい。トドマツは11月の増加が、12月は横ばい、28年1月は減少。

・スギ及びカラマツ原木の消費は3ヵ月連続して増加。ヒノキは11月の増加が、12月は減少、28年1月は増加。トドマツは11月、12月の増加が、28年1月は減少。

・スギ原木の在庫は11月の横ばいが、12月、28年1月は増加。ヒノキ及びトドマツ原木の在庫は3ヵ月連続して増加。カラマツは11月の増加が、12月、28年1月は横ばい。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/11月	12月	28/1月
スギ	40.0	20.0	20.0
ヒノキ	50.0	25.0	25.0
カラマツ	50.0	40.0	20.0
米マツ	25.0	25.0	0.0
北洋カラマツ	33.3	33.3	33.3
その他	0.0	0.0	0.0

・スギ、ヒノキ、カラマツ及び北洋カラマツの原木価格は強含みで推移。米マツは11月、12月の強含みが、28年1月は横ばい。その他は3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

・カラマツ入荷しづらくなって来た。生産量は前月と変わらず、横ばい。在庫はほぼ横ばい。  
・製品欠品により不足分を消費増。  
・入荷は、相変わらず価格強含みも概ね順調。消費はマツ系需要期のため増量。在庫はマツ系のみ増量、他は概ね変わらず。  
・減産幅縮小により、原木の消費が増えているため入荷もその分増やしている。原木消費量は増加、スギは消費量分を入荷しており、在庫増減はほとんどない。  
・入荷減であったヒノキが10%増、他は計画的に入荷。生産計画、稼働日数に添い消費。在庫はヒノキの入荷増により多少増加、冬季に向けての準備段階。  
・天候が良く、出材が増えて来ている。合板の生産状況も良好のため入荷を増やす。年末は休みが増えるので消費は減少。出材時期だけに、意識して在庫を増やす。

## (原木価格)

・スギ横ばい。カラマツ強含みの横ばい。  
・カラマツ入りにくく、価格上昇傾向。  
・需要期に差しかかり、全体的に強含み。  
・特段変化なし。  
・10月より全樹種上昇、製品価格上昇に期待。  
・市場で原木価格は下がっているが、伐採意欲が下がらない様に価格を維持して在庫を増やす。

## 27年11月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		27/11月	12月	28/1月
生産動向	構造用(9mm)	16.7	0.0	0.0
	〃 (12mm)	57.1	0.0	0.0
	〃 (15mm)	28.6	△ 16.7	0.0
	〃 (24mm)	42.9	0.0	0.0
	〃 (28mm)	42.9	0.0	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	33.3	25.0	0.0
	〃 (12mm)	42.9	16.7	0.0
	〃 (15mm)	14.3	16.7	0.0
	〃 (24mm)	57.1	33.3	16.7
	〃 (28mm)	28.6	16.7	0.0
在庫動向	構造用(9mm)	△ 33.3	△ 20.0	△ 20.0
	〃 (12mm)	△ 57.1	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (15mm)	△ 28.6	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (24mm)	△ 57.1	△ 16.7	△ 16.7
	〃 (28mm)	△ 28.6	△ 16.7	△ 16.7

・合板の生産は11月の増加が、12月、28年1月は、15mmを除いて、全て横ばい。

・合板の出荷は11月、12月は増加し、28年1月は、24mmの増加を除いて、全て横ばい。

・合板の在庫は、全ての品目で3ヵ月連続して減少。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	27/11月	12月	28/1月
構造用(9mm)	16.7	20.0	0.0
〃 (12mm)	28.6	16.7	0.0
〃 (15mm)	14.3	16.7	0.0
〃 (24mm)	14.3	16.7	0.0
〃 (28mm)	14.3	16.7	0.0

・合板の出荷価格は、全ての品目で11月、12月の強含みが、28年1月は横ばい。

## モニターからのコメント

## (合板荷動き)

- ・在庫不足気味。
- ・12mm、15mm、28mmが特に在庫が少ないため生産増。ほぼ生産分を出荷する見込み。在庫少なく、生産分を出荷するため在庫は横ばい。
- ・欠品になり（需要増）、不足分を生産増。出荷はかなり旺盛、今後も年末に向け更に引き合い多し。在庫はしばらく減少のまま推移。
- ・少量の取り扱いのため、特に変化なし。
- ・12mm、24mmの出荷が多い。
- ・出荷は24mmが増加傾向。在庫は先月比8%減少。
- ・荷動き良く、在庫量減少のため、発注状況に合わせて生産を行う。秋需に入る中、順調に発注量が増加。在庫量は減少、増える状況にない。

## (合板価格)

- ・値戻しをアナウンスしているが上がりず。
- ・今後も上昇へ。
- ・需給及び生産調整のバランスを図って行きたい。
- ・品薄状況下にあるものの価格は上がらない状態。
- ・今後の価格上昇に期待したい。